

令和4年度 多摩市介護予防・日常生活支援総合事業 実績および令和5年度目標

資料5

事業名	目的・概要	評価項目(含、事業カルテ指標)	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和4年度実績	補足説明・影響因子等	5年度目標																									
TAMAフレイル予防プロジェクト(TFPF)	フレイル(虚弱)の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、2段階の質問項目と4項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定する。大学、介護予防リーダー等の市民と協働で取組める事業。 令和2年度より、感染予防を徹底し、短時間でこなえる方法に変更して(2020年度版)実施している。	①全実施回数	11回	16回	27回	・屋外公園2ヶ所、長寿を祝う会の3回大規模、既存の地域介護予防教室(15ヶ所)の実施や出張TFPPの依頼もあり、合計27回実施。 保健事業と介護予防事業の一体化事業との連携で、フレイルのハイリスク者に勧奨通知送付、参加者増加につながった。 <table border="1"> <tr><th colspan="5">TFPP参加者延べ数の年次推移</th></tr> <tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>実施回数(回)</td><td>24</td><td>7</td><td>11</td><td>27</td></tr> <tr><td>参加者延べ数(人)</td><td>526</td><td>99</td><td>253</td><td>706</td></tr> </table>	TFPP参加者延べ数の年次推移						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実施回数(回)	24	7	11	27	参加者延べ数(人)	526	99	253	706	30回					
		TFPP参加者延べ数の年次推移																														
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																									
		実施回数(回)	24	7	11		27																									
参加者延べ数(人)	526	99	253	706																												
小規模	2回	10回	19回	20回																												
中規模	7回	5回	5回	6回																												
大規模	2回	3回	3回	4回																												
	②年間延べ参加者数	253人	-	706人	--																											
うんどう教室	運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として、地域指導員が主体的に実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用したうんどう教室をそれぞれ月1回開催。 ・平成13年度より「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」開始 ・平成24年度から「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」開始	①実施回数	22回	24回	24回	令和4年度 ・乞田貝取ふれあい広場公園 参加者実数：32人 延べ参加者数：238人 (指導員参加者実数：8人) ・豊ヶ丘南公園 参加者実数：46人 延べ参加者数：276人 (指導員参加者実数：10人) ※いずれも指導員含まない ・豊ヶ丘南は、昨年と比べ実施回数が増加しているが、参加者実数と延べ参加者数が減少している。	24回																									
		②参加者実数	88人	なし	78人	--																										
		③延べ参加者数	388人	なし	514人	--																										
うんどう教室地域指導員養成	うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。	①新規養成者数	--	--	--	・令和4年度は養成講座は実施しないが、活動している地域指導員が減ってきているため、令和5年度に養成講座を実施する。	--																									
		②累計養成者数(養成講座修了者数)	--	--	--	--																										
地域介護予防教室	介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室。「元気アップ体操」を共通のツールとしてを実施。市は運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	①教室数	15か所	17か所	17か所	・猛暑や積雪等の気候による単発的な中止以外は、教室活動が継続的に行われた。 ・令和4年度は、永山2丁目と貝取1丁目の2ヶ所で新規教室が立ち上がった。令和5年度から諏訪2丁目で新規教室で立ち上がっている。 ・令和4年10月に、多摩市地域介護予防教室として、私のまちの『通いの場』自慢コンテスト(ご当地体操&地域の魅力発信動画コンテスト部門)に応募し、優秀賞を受賞した。 <table border="1"> <tr><th colspan="5">地域介護予防教室参加者延べ数の年次推移</th></tr> <tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>開催回数(回)</td><td>594</td><td>337</td><td>484</td><td>747</td></tr> <tr><td>参加者延べ数(人)</td><td>20,124</td><td>8,530</td><td>12,855</td><td>20,087</td></tr> <tr><td>教室数(箇所)</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>17</td></tr> </table>	地域介護予防教室参加者延べ数の年次推移						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	開催回数(回)	594	337	484	747	参加者延べ数(人)	20,124	8,530	12,855	20,087	教室数(箇所)	14	15	15	17	18か所
		地域介護予防教室参加者延べ数の年次推移																														
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																									
		開催回数(回)	594	337	484		747																									
参加者延べ数(人)	20,124	8,530	12,855	20,087																												
教室数(箇所)	14	15	15	17																												
②実施回数	484回	各教室月4回	747回	各教室月4回																												
③参加者実数	841人	--	1,070人	なし																												
③延べ参加者数	12,855人	--	20,087人	なし																												
介護予防リーダー養成	地域で介護予防活動を実施する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催。	①新規養成者数	20人	20人	13人	・令和4年度も下半期に養成講座を実施。 ・長引くコロナ禍の影響で、参加者が少なかった。志望動機は、介護予防リーダーからの紹介が最も多く、地域で何かの役に立ちたいが次に多かった。実際に介護予防リーダーとして担い手となる方は6割程度である。 <table border="1"> <tr><th colspan="5">介護予防リーダー養成者数の年次推移</th></tr> <tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>終了者数(人)</td><td>24</td><td>16</td><td>20</td><td>13</td></tr> <tr><td>累計養成者数(人)</td><td>136</td><td>152</td><td>172</td><td>185</td></tr> </table>	介護予防リーダー養成者数の年次推移						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	終了者数(人)	24	16	20	13	累計養成者数(人)	136	152	172	185	20人					
		介護予防リーダー養成者数の年次推移																														
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
終了者数(人)	24	16	20	13																												
累計養成者数(人)	136	152	172	185																												
②累計養成者数	172人	192人	185人	205人																												
介護予防ボランティアポイント	高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行い、自身の健康維持・介護予防を図ることを目的とする。ボランティアを行った方にポイントが付与され、ポイントに応じた交付金を支給する。	①受入登録機関	49機関	50機関	53機関	・ボランティアポイント説明会：9回開催18人参加。出張ボランティア相談：18回開催48人参加。 ・ボランティア活動の場は、新しく学童・児童館および社会福祉協議会を追加したことにより、新規施設5件あり、合計53機関と介護予防リーダー活動となった。	55機関																									
		②新規登録者数	30人	50人	46人	・受入機関は、令和4年度は21機関(50機関中)、令和5年度は35機関(53機関中)と再開してきているが、高齢者施設では依然としてボランティアの受入を中止している。 ・ボランティア登録者は、新規登録者46名と増加し、514人と増加。	50人																									
		③登録者数	484人	500人	514人	・ボランティアポイントの活用申請者数は、令和4年度77件でコロナ禍の影響により、横ばい。	550人																									
地域リハビリテーション活動支援事業	リハビリテーション専門職を住民運営の通いの場へ派遣することで、介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。 ※サロン及び自主グループへの支援は、元気塾のリハ職を派遣 ※近トレや認知機能低下に寄り添う通いの場プログラムを取り入れた地域介護予防教室への支援は、登録されている地域のリハ職を派遣	①派遣回数	22回	80回	68回	・令和4年度の登録リハビリテーション専門職は、50人(17機関) ・通いの場が再開に伴い、リハ職派遣数が増加。 <table border="1"> <tr><th colspan="5">地域リハビリテーション専門活動支援数の年次推移</th></tr> <tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>実施回数(回)</td><td>75</td><td>10</td><td>22</td><td>68</td></tr> <tr><td>参加者数(人)</td><td>793</td><td>75</td><td>283</td><td>752</td></tr> </table>	地域リハビリテーション専門活動支援数の年次推移						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実施回数(回)	75	10	22	68	参加者数(人)	793	75	283	752	80回					
		地域リハビリテーション専門活動支援数の年次推移																														
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
実施回数(回)	75	10	22	68																												
参加者数(人)	793	75	283	752																												
②延べ参加者数	283人	--	752人	--																												
近所de元気アップトレーニング(近トレ)	「元気アップ体操」を共通のツールとして、住民運営の通いの場で人と人とのつながりを通じて、地域の支え合い活動に発展していくような地域づくりを推進する。 地域への広報や立ち上げ・継続支援は第2層生活支援コーディネーターや地域包括支援センターとともに実施する。※生活支援体制整備事業として実施し地域での拡充を目指す。	①箇所数	42箇所	47箇所	40箇所	・40団体のうちサロン登録しており、かつ報告書提出済みの団体の数のみ計上。 ・新規団体の立ち上げ5件であったが、活動終了となった団体もあり、団体数が減っている。 ・社会福祉協議会ふれあいいきいきサロンは3月末現在111ヶ所。	45箇所																									
		②実施回数	1,035回	--	1,849回	--																										
		③延べ参加者数	8,829人	--	14,388人	--																										
通所型短期集中予防サービス(元気塾)	リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士)による運動機能向上、認知症予防、口腔・栄養機能の向上のプログラムを実施し、身体機能の改善を図る。 事業の前後で生活機能評価等を行い、事業終了後は地域介護予防教室等、地域の多様な活動につなげ、地域で自立して健康的に生活できる期間を延ばす。 対象は、基本チェックリストによる事業対象者と要支援1・2の認定を受けた方。 週2回、4ヶ月間通所する。 令和3年度より、地域包括支援センターが家庭訪問する際に、元気塾のリハ職が同行し、高齢者の身体機能等の評価、福祉用具や住宅改修等の相談に応じ助言を行う介護予防ケアマネジメント支援を開始。	①利用者実数	102人	150人	121人	・令和4年度退所者は10人。退所理由：入院加療、持病悪化や体調不良(9人)、腰痛による運動面の不安(1人) ・元気塾卒業後、地域の通いの場につながった方の割合は75%。 ・元気塾卒業者は、令和3年度101人、令和4年度123人。訪問同行支援件数は、令和3年度39件、令和4年度55件。 ・体験会を各元気塾2回開催、延べ47名参加、うち11名が元気塾利用につながった。	150人																									
		②利用者のべ人数	2,573人	--	3,009人	--																										
		③個別の目標達成割合	81.0%	8割	75.0%	8割																										
		④地域活動など維持・向上のための活動への提案・つなぎ	77.0%	7割	74.0%	7割																										
		⑤5m最大歩行速度レベルの維持・向上	74.0%	8割	74.0%	8割																										
		⑥主観的健康観の維持・改善割合	71.0%	8割	67.0%	8割																										
		⑦基本チェックリスト25項目合計の維持・改善	82.0%	8割	86.0%	8割																										
住民主体による訪問型サービス	多摩市社会福祉協議会、シルバー人材センター、NPO法人等に登録している市の研修を修了した生活サポーターが、日常生活に必要な家事等を利用者とともに行うことで、その利用者が可能な限り居宅において生活機能を維持または向上することを旨とする。 対象は、基本チェックリストによる事業対象者と要支援1・2の認定を受けた方。 週1回 60分/回以内 または、同行支援は90分/回以内 内容は、掃除、洗濯、食事の準備や調理、買い物同行支援等の家事	①利用件数	2124件	3,024件	2,143件	・養成講座3回開催、延べ27人参加。(うち事業所研修2名)生活サポーターのいない地域での担い手発掘のため、養成講座チラシのポスティングを行い、参加者数が増えた。 ・フォローアップ研修会3回開催、延べ48人参加。うち2回は、男性の活躍の場創出を狙い、男性限定のフォローアップミーティングを実施。ボラセン主催の男性ボランティア団体創設につながる。	3,082件																									
		②利用者実数	70人	75人	72人	75																										
		③利用者延べ人数	延べ605人	延べ840人	延べ624人	延べ810人																										
介護予防ケアマネジメント	介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握する。	介護予防ケアマネジメント実施件数	5,202	--	5,546	例年程度の件数である。	--																									